



2010年3月18日

武田薬品工業株式会社が1000万米ドルを 世界エイズ・結核・マラリア対策基金へ寄付

— 資金はアフリカにおける保健システム強化に向けた取り組みへ —

ジュネーブ - 日本最大の製薬企業である武田薬品工業株式会社（以下、武田薬品）は本日、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（以下、世界基金）に対し、年間1億円（約100万米ドル）の寄付を2010年から2019年にかけて行うことを発表しました。

武田薬品による今回の支援は、世界基金が支援するアフリカの感染症対策プログラムのうち、保健医療人材の育成・強化を中心とした保健システム強化に向けた取り組みに対して使われることとなります。初回となる2010年は、ナイジェリア、セネガル、タンザニアにて、それぞれエイズ、結核、マラリア対策への支援を行う予定となっています。また、武田薬品は、世界基金の日本における広報や啓発活動への協力も行います。

世界基金事務局長ミッシェル・カザツキン氏は、「武田薬品によるご寄付を、心より嬉しく思います。このご支援が、他の企業の意識を呼び起こし、アジアや世界中の企業が三大感染症との闘いに加わって下さることを願っています。三大感染症に直接的に携わっていない武田薬品のような企業がこれらの病気で苦しむ方々の命を救う機会を提供でき、世界基金としても光栄に思っています」と述べています。

今回、武田薬品と世界基金が新たなパートナーシップを組むにあたり、世界基金の活動を支援する日本の民間グループである世界基金支援日本委員会が仲介を行ってきました。今回の寄付により武田薬品は、世界基金のコーポレート・チャンピオン・プログラムにおける初の「コーポレート・パートナー」となります。世界基金設立に向けて国際社会が動き出した2001年以来、企業、経済団体や個人をはじめとする民間セクターは、ガバナンス向上のパートナーとして、寄付や商品の無償提供などによる資金動員のパートナーとして、また、資金受け入れ国における協力者としてなど、様々な方法で世界基金の活動を支えています。

ます。このコーポレート・チャンピオン・プログラムには、米国の多国籍石油関連企業シェブロンが 2008 年に初の「コーポレート・チャンピオン」として参加し、世界基金への大型寄付と途上国でのローカル・パートナーシップを実施しています。現在までに民間セクターと、プロダクト（RED）やビル&メリンダ・ゲイツ財団などの非政府ドナーから、合計 8 億 5 千万ドル以上の寄付が寄せられています。

武田薬品の代表取締役社長 長谷川閑史氏は、「本プログラムは当社の経営理念に合致したものであり、かつ当社が昨年参加した国連グローバル・コンパクトの理念を具体的に実践するものです。本プログラムにより、途上国における保健医療の基盤が強化され、三大感染症に苦しむ方々のお役に立てることを、心より期待しています」と述べています。

世界基金支援日本委員会ディレクターである（財）日本国際交流センター理事長の山本正氏は「武田薬品の貢献は、非常に画期的なものです。グローバルな三大感染症との闘いに日本企業が先導的な役割を果たした例は未だ数少ないのが現状です。日本の多様なセクターが三大感染症のような地球的課題にいかに関与できるかを示す素晴らしいモデルとなるのではないのでしょうか」と述べています。

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（世界基金）の概要

三大感染症（エイズ、結核、マラリア）対策のための追加的資金を国際社会から調達し途上国に支援することを目的として設立された、官民パートナーシップに基づく組織。世界基金は、各国の政府、市民社会、民間セクター、感染症に苦しむ人々のパートナーシップによって運営されており、国際保健分野の援助手法の新しいアプローチを具現化している。既存の三大感染症対策を補完することができるよう、他の国際機関や二国間援助機関と緊密に連携をとり支援を行っている。

2002 年の設立以来、世界基金は発展途上国の感染症対策を支える重要な資金源となっており、これまでに 144 カ国の 600 以上のプログラムに対して、総額 192 億ドルの支援を承認している。世界基金の支援により、これまでに 250 万人にエイズ治療、600 万人に結核治療が提供され、マラリア感染を予防する蚊帳 1 億 400 万張が配布された。これにより 490 万人の命が救われたと推計されている。

タケダ・イニシアティブの概要

世界エイズ・結核・マラリア対策基金が推奨する以下の 3 カ国のプロジェクトのうち、保

健医療人材の育成・強化を中心とする保健システム強化の支援。

- ・タンザニア（対象疾病 マラリア）：殺虫剤浸漬蚊帳の全国普及プロジェクト
—蚊帳配布システムの強化や蚊帳使用の普及に携わる人材の育成・強化など
- ・ナイジェリア（対象疾病 エイズ）：包括的エイズ治療・ケア・サポートの拡充プロジェクト
—エイズ患者・遺児の地域ケアや、差別偏見をなくす啓発活動を担う NPO・住民組織の研修など
- ・セネガル（対象疾病 結核）：結核対策強化プロジェクト
—結核診断・治療にあたる医師や技師の育成・強化など

Rebeca Kritsch – Communications

Office: + 41 58 791 1822

Mobile: + 41 79 441 8937

Email: rebeca.kritsch@theglobalfund.org

世界基金に関する詳細は以下のウェブサイト参照

www.theglobalfund.org

日本国内でのお問い合わせ先：

世界基金支援日本委員会（FGFJ）

（財）日本国際交流センター

チーフ・プログラムオフィサー 伊藤聡子

Email: fgfj@jcie.or.jp

Tel: 03-3446-7781（代表） FAX: 03-3443-7580

URL: www.jcie.or.jp/fgfj/